

平成24年度

事務事業評価表(平成23年度の実績評価)

記入年月日
平成 24 年 4 月 13 日

事務事業名		指定教育学級開設助成事業				区分		事務事業No.	30223427		
						<input type="checkbox"/> 分野別主要事業 <input type="checkbox"/> 未来プロジェクト事業 <input type="checkbox"/> 市長マニフェスト事業 <input type="checkbox"/> 合併建設計画事業 <input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 <input checked="" type="checkbox"/> 単独事業 <input type="checkbox"/> 補助事業		課内No.	27		
政策体系		政策体系上の位置付け						事務事業主管課			
総合計画の施策名		302 生涯学習・芸術文化活動の推進						所属部	教育委員会		
政策名		3	豊かな心と生きがいを育む教育・文化づくり					所属課	生涯学習課	34	
施策名		2	生涯学習・芸術文化活動の推進					課長名	土生都 信輔		
基本事業名		2	生涯学習及び芸術文化活動の促進					グループ	生涯学習グループ		
		財務会計上の位置付け				事業期間		担当者名	谷嶋 純子		
予算科目		会計	款	項	目	事業	一般会計				
		1	10	5	7	1	生涯学習推進事業				
法令根拠						<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し (平成7年度～)		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(年度～年度)			

【Do】 1. 事務事業の現状把握 ▶ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入

事務事業の概要(事務事業の内容、担当が行う業務の内容、手順、事業費の内訳等。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事務事業の内容】
 会員相互の親睦と資質の向上をはかり、生活課題解決を通して、住みよい地域づくりを目的とする。
 研修会・定例会・県西地区発表会・県発表会・生活学校運動大会・消費者大会
 女性の教養・技能を学習活動を通して身につけ、より良い社会生活を送るための資質の高揚を図ることを目的に講演会や移動学習を実施する。

【担当が行う業務の手順】
 補助金申請・研修会資料作成・市バス申請及び引率

【事業費の内訳】
 補助金

(1) 事務事業の目的			
①手段(23年度 実際に行った主な活動)	市総会・県総会・研修会・ボランティア活動・	⇒	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)
			ア 参加人数 単位: 人
			イ 活動回数 単位: 回
			ウ
			エ
② 対象(誰、何を対象にしているのか)	市総会・県総会・研修会・ボランティア活動・	⇒	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)
			ア 会員数 単位: 人
			イ
			ウ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	女性の教養範囲の向上を図り、住みよい地域づくりを寄与する	⇒	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)
			ア 研修会へ出席した割合 単位: %
			イ
			ウ
④ 結果(どんな結果に結び付けるのか)	学習活動を通して住みよい地域づくりをする	⇒	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)
			ア 研修会へ出席し充実した割合 単位: %
			イ

(2) 指標値の推移								
区分	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(計画)	25年度(計画)	28年度(目標)
⑤活動指標	ア 人	273	454	480	1,149	1200	1200	1200
	イ 回	16	22	20	25	25	25	25
	ウ							
	エ							
⑥対象指標	ア 人	44	44	44	125	80	80	80
	イ							
	ウ							
⑦成果指標	ア %	48	69	80	100	100	100	100
	イ							
	ウ							
⑧上位成果指標	ア %	100	100	100	100	100	100	100
	イ							

(3) 投入量(事業費)の推移										
		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	28年度	期間限定 総投入量	
投入量	事業費内訳	国庫支出金 千円								
		県支出金 千円								
		地方債 千円								
		使用料・手数料 千円								
		その他 千円	20	20	20	20	20	20	20	
	一般財源 千円	18	18	18	34	34	34	34		
	事業費計(A) 千円	38	38	38	54	54	54	54	0	
	人件費	正規職員従事人数 人	1	1	1	1	1	1	1	
		延べ業務時間 時間	5	5	5	76	76	76	76	
		人件費計(B) 千円	16	15	15	232	231	231	231	
トータルコスト(A)+(B) 千円		54	53	53	286	285	285	285		

(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？
 日常生活の中の問題点を持ち寄り、それを解決するために活動している。
 女性の生きがいを高め、女性の社会参加の促進と地域社会における連帯感を高めるなどの趣旨のもと発足した。(※同種の生活学校事業と真壁女性学級を23年度に指定教育学級開設事業として一本化したため活動指標人員及び人件費等が増となった)

(5) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
 環境問題、食育について、子育て等身近な生活問題の要望が寄せられる

事務事業名	指定教育学級開設助成事業	事務事業No.	30223427	所属課	生涯学習課
-------	--------------	---------	----------	-----	-------

【See】 2. 評価の部 * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

評価項目	
目的 妥当性	① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?) 身近な問題解決について活動しているため結び付く <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている
	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?) 住みよい地域づくりを貢献しているため妥当である 女性の生きがいづくりと地位向上のためにはひとつである <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である
	③ 対象・意図の妥当性 (対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?) 会員の年齢層が高齢化しているため、若い世代の会員を勧誘したい <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 適切である
	④ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?) 研修やボランティア活動など自主的な活動が必要である。 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない
有効性	⑤ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) 身近な問題解決のアイデアが持ち寄れなくなり、住みよい環境づくりができなくなる 生きがいづくりや仲間作りの低下を招き地域への連帯意識がなくなる <input type="checkbox"/> 影響無 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性がありますか? (市以外の取り組みも含む)) 他に手段がある <input type="checkbox"/> → 具体的な手段、事務事業名 他に手段がない <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる
効率性	⑦ 事業費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)) 会員より会費を徴収し、補助金とで成り立っているため、削減の余地はない <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 (やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?) 社会教育指導員が事務連絡担当である <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない
公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?) 各地区だけの活動であるため、合併した3地区での活動できるよう活動範囲の見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 公正・公平である

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果 ① 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 会員を旧地区で集めているため、募集を全地区に広める。また、活動内容の発表など機会をもうける																					
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input type="checkbox"/> 現状維持 (複数回答可) <input checked="" type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる	(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○	×																		
	低下		×	×																		
(3)-1 改革改善策 会員の募集を全地区に広め、事業活動を行う。 活動内容のPRを行う。																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 市民に対し、学級の事業活動PRをする機会をもうける																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 B A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄
(3) 2次評価における改革改善案	(4) 2次評価における指摘事項